

総合情報学部

2.DPを含むアセスメント結果の活用

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用
成績評価(修得単位数、GPA)	各学期末	各学年	学生の成績状況を把握し、授業改善、学習支援、履修指導、カリキュラム改善に活用。
成績分布(入試区分別単位修得状況の確認)	毎学期	各学年	学習支援、カリキュラム改善に活用。
TOEIC(実践英語)	4月、7月、1月	1年次	知識・技能の習得状況の確認
総合情報学部学習指導	9月、3月	各学年	執行部会(1~2年次生)と各ゼミ(3~4年次生)担当教員が、成績不良者に面談指導を行い、指導結果をカリキュラム改善や学習支援の見直しに活用。
休学退学状況	随時	各学年	学習支援の改善、カリキュラム改善に活用。
卒業者の進路状況	学期末	4年次	就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開
授業評価アンケート	毎学期	各学年	授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。
シラバスチェック	2月	各学年	教育や学修がCPに則って適切に進められているか確認し、学修支援およびカリキュラムの改善に活用。
入学時調査 パネル調査 卒業時調査(資格取得状況を含む)	4月、12月、3月	1年、2年、4年	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、学生へのフィードバックに活用。
授業・学生生活に関する調査	7~9月	各学年	授業・学修の実態把握、効果検証
留学・国際交流の状況	年度末	各学年	国際性や主体性の向上に活用する。
卒業生調査	6年ごと	世代抽出	人材育成目的の検証、学部の内部質保証に活用。
卒業論文	2月	4年次	卒業研究において、態度、構成、方法の妥当性、論理性、独創性に基づき、評価し、ディプロマ・ポリシーの達成度の評価に活用。